

生体情報収集や生活アドバイス

住民ヘルスケア説明会

地域住民を対象としたヘルスケアサービスの実証実験について、近鉄グループホールディングス（GHD、大坂市）は3日、奈良市学園南3丁目の「住まいと暮らしのぶらつとHOME」で、サービス提供の説明会を開催。住民約30人が参加した。

同実証実験は、県立医科大学MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所（樋原市、細井裕司所長）、同大発ベンチャー企業「M

登美ヶ丘南住宅地の住民を対象に、リストバンド型ウェアラブル端末などで生体情報を収集、分析して生活アドバイスといったサービスといったサービスを提供する。

この日は、相当暑から各種データの収集、分析で生活アドバイスを提供する「パーソナル健康サービス」のほか、生活アドバイスに即した料理レシピの提供、食材購入でネットスーパーにもリンクするサービスの実施などを示された。

来年3月まで1年間の実証実験を経て、結果と効果を検証した上で、来年度から県内で新たなサービスとしてヘルスケアサービスを展開する。

近鉄GHD